

室蘭の西島さん 商工会議所育成事業参加

「匠教室」1期生 夢の大工に



西島さんは4月から室蘭の住宅建築会社「住まいのウチイケ」に入社し、棟梁の佐藤信之さん(46)の下で働き始めた。連日、建設現場で壁紙の下地張りや

西島さんは中学卒業後、室蘭工業高電気科に進学したが、「大工の道が忘れられなかつた」という。高3のビス留めなど基礎をたたき込まれ、「いつかは棟梁と同じくらいの技術を身につけ、何でもできる大工になりたい」と語る。

西島さんが初めて大工になりたいと思ったのは2017年、中学3年生の時。

匠教室に通い、講師役だった佐藤さんの指導で木材の

講師に弟子入り

切断やペンキの塗装などを体験した。西島さんは「ものづくりが楽しく、大工になりたいと思った」と振り返る。

西島さんは中学卒業後、室蘭工業高電気科に進学したが、「大工の道が忘れられなかつた」という。高3の時にインターインシップ(職業体験)先企業にウチイケを選び佐藤さんと再会すると、3年前の記憶が蘇った。「大工への憧れが再び強くなり、就職希望を出した」という。

建設業は職人の高齢化や人手不足が進む。ウチイケも若手が必要で、西島さんを正社員として採用したといふ。

希望の道に足を踏み入れた西島さん。慣れない作業で失敗することもある。それでも「棟梁に『良い仕事だな』と褒められるところしい」と表情を和らげる。佐藤さんは西島さんについて「器用で成長も早い。けがをせず、きれいな仕事ができる大工になって」と期待する。

匠教室は本年度も室蘭の中学生を対象に開催が予定される。室蘭商工会議所は「西島さんのようにものづくりの道を志す人が育つてほしい」としている。